

野村先進国ヘッジ付き債券ファンド (愛称:エンタメくん)

運用報告書(全体版)

第130期 (決算日2021年9月13日) 第131期 (決算日2021年10月13日) 第132期 (決算日2021年11月15日)
第133期 (決算日2021年12月13日) 第134期 (決算日2022年1月13日) 第135期 (決算日2022年2月14日)

作成対象期間 (2021年8月14日～2022年2月14日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券
信託期間	2010年11月10日以降、無期限とします。
運用方針	日本を含む世界主要国の国債への投資により、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行なうことを基本とします。投資する債券は、主として、世界主要国のうち信用力が高い国 (A格相当以上の長期債格付を有している国 (格付のない場合には委託会社が当該格付と同等の信用度を有すると判断した国を含みます。)) の国債、およびわが国の国債とします。運用にあたっては、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性等も加味して、投資対象国を原則として3カ国選定した上で、国別の投資比率が概ね均等となるように投資を行なうことを基本とします。ただし、投資環境、資金動向、市況動向等によっては、投資対象国が3カ国とまらない場合、国別の投資比率が概ね均等とまらない場合があります。また、わが国の国債のみに投資を行なう場合があります。なお、投資対象国は定期的に見直すものとします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
主な投資対象	日本を含む世界主要国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行ないません。株式への投資は、転換社債を転換したものに限り、信託財産の純資産総額の5%以内とします。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等から利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税金 分	配 金	騰 落	額 中 率	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
106期(2019年9月13日)	9,166		20		△0.2		100.7		—	12,494
107期(2019年10月15日)	9,118		20		△0.3		98.9		—	12,508
108期(2019年11月13日)	9,018		20		△0.9		96.7		—	12,698
109期(2019年12月13日)	9,000		20		0.0		98.2		—	13,013
110期(2020年1月14日)	8,952		20		△0.3		99.8		—	12,919
111期(2020年2月13日)	8,997		20		0.7		95.8		—	12,461
112期(2020年3月13日)	8,982		20		0.1		94.8		—	12,082
113期(2020年4月13日)	8,828		20		△1.5		96.8		—	11,702
114期(2020年5月13日)	8,852		20		0.5		98.3		—	11,705
115期(2020年6月15日)	8,847		20		0.2		98.4		—	11,204
116期(2020年7月13日)	8,835		20		0.1		97.5		—	10,834
117期(2020年8月13日)	8,812		20		△0.0		99.5		—	10,849
118期(2020年9月14日)	8,799		20		0.1		96.4		—	10,530
119期(2020年10月13日)	8,795		10		0.1		98.3		—	10,424
120期(2020年11月13日)	8,761		10		△0.3		99.5		—	10,327
121期(2020年12月14日)	8,732		10		△0.2		99.1		—	10,150
122期(2021年1月13日)	8,696		10		△0.3		99.6		—	10,029
123期(2021年2月15日)	8,667		10		△0.2		99.6		—	9,596
124期(2021年3月15日)	8,515		10		△1.6		99.6		—	8,943
125期(2021年4月13日)	8,516		10		0.1		97.7		—	9,374
126期(2021年5月13日)	8,507		10		0.0		99.0		—	9,302
127期(2021年6月14日)	8,508		10		0.1		98.6		—	9,072
128期(2021年7月13日)	8,490		10		△0.1		96.8		—	9,020
129期(2021年8月13日)	8,483		10		0.0		98.9		—	8,975
130期(2021年9月13日)	8,469		10		△0.0		99.2		—	8,908
131期(2021年10月13日)	8,374		10		△1.0		101.6		—	8,779
132期(2021年11月15日)	8,301		10		△0.8		96.6		—	8,311
133期(2021年12月13日)	8,304		10		0.2		99.1		—	8,284
134期(2022年1月13日)	8,260		10		△0.4		97.8		—	8,153
135期(2022年2月14日)	8,182		10		△0.8		99.3		—	7,999

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 当ファンドは、原則として為替ヘッジ後の利回り水準等を勘案して1ヵ月毎に投資対象国を見直します。当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

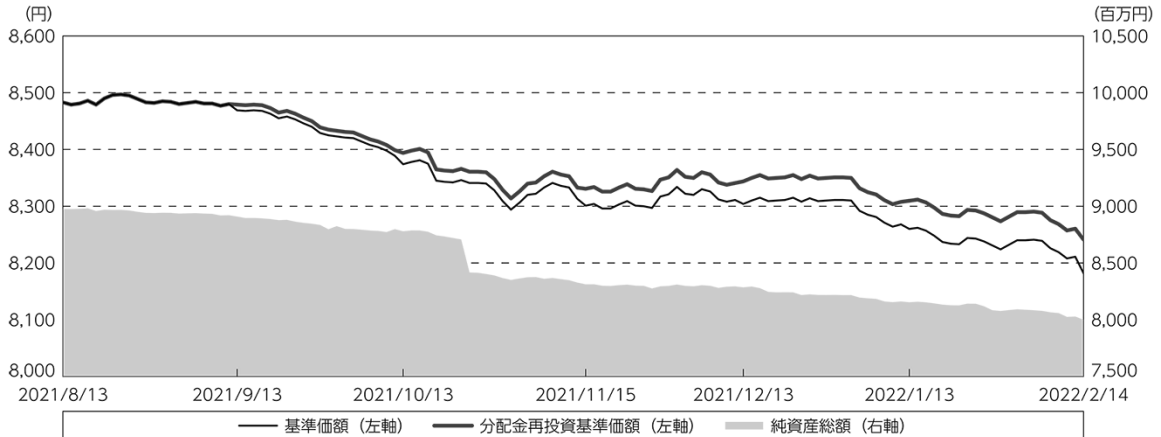
決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	率			
第130期	(期 首) 2021年8月13日	円 8,483		% —	% 98.9		% —
	8月末	8,485		0.0	99.5		—
	(期 末) 2021年9月13日	8,479		△0.0	99.2		—
第131期	(期 首) 2021年9月13日	8,469		—	99.2		—
	9月末	8,425		△0.5	99.0		—
	(期 末) 2021年10月13日	8,384		△1.0	101.6		—
第132期	(期 首) 2021年10月13日	8,374		—	101.6		—
	10月末	8,309		△0.8	99.2		—
	(期 末) 2021年11月15日	8,311		△0.8	96.6		—
第133期	(期 首) 2021年11月15日	8,301		—	96.6		—
	11月末	8,321		0.2	94.3		—
	(期 末) 2021年12月13日	8,314		0.2	99.1		—
第134期	(期 首) 2021年12月13日	8,304		—	99.1		—
	12月末	8,310		0.1	101.4		—
	(期 末) 2022年1月13日	8,270		△0.4	97.8		—
第135期	(期 首) 2022年1月13日	8,260		—	97.8		—
	1月末	8,232		△0.3	97.3		—
	(期 末) 2022年2月14日	8,192		△0.8	99.3		—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第130期首：8,483円

第135期末：8,182円 (既払分配金(税込み)：60円)

騰落率：△ 2.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2021年8月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首8,483円から当作成期末には8,182円(分配後)となりました。この間に、合計60円の分配金をお支払いしましたので、分配金を考慮した値下がり額は241円となりました。

(上昇) 債券を保有していたことによる、インカムゲイン(利息収入)。

(下落) 組入れ債券の価格が下落したことによるキャピタルロス(値下がり損)。

○投資環境

米国では、短期債や中期債を中心に債券利回りが上昇（価格は下落）しました。新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大が世界経済の下押し圧力になるとの懸念から、長期債を中心に債券利回りが低下（価格は上昇）する局面がありました。しかし、高インフレが持続するリスクに鑑みてFRB（米連邦準備制度理事会）が金融政策正常化を前倒しする姿勢を示したことで、短期債や中期債を中心に利回りには上昇圧力がかかりました。

ユーロ圏では、債券利回りが上昇しました。新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う行動制限の強化がユーロ圏の景気回復に水を差し、債券利回りの上昇が米国対比で抑えられていたものの、その後2月に開催されたECB（欧州中央銀行）の会合において金融緩和の早期縮小が市場で強く意識された結果、債券利回りは上昇しました。

当作成期末に投資対象国としていたオーストラリアやシンガポールについても、世界的に金融緩和縮小に向かう流れの中で、債券利回りは上昇しました。

○当ファンドのポートフォリオ

<組入債券・投資対象国>

組入債券は、世界主要国のうち信用力が高い国の国債としました。投資対象国は、当作成期にノルウェーを除外し、新たに米国を組み入れました。当作成期末における投資対象国は、オーストラリア、シンガポール、米国としました。投資対象国の選定にあたっては、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性等も加味して決定しました。投資配分については当作成期を通じて、投資対象国で概ね均等としました。

<デュレーション※>

ポートフォリオのデュレーションは、当作成期末で約2.5年程度としました。

※デュレーションとは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り変化に対する価格変化が大きくなります。ポートフォリオのデュレーションとは、債券デュレーション×債券組入比率で表されます。

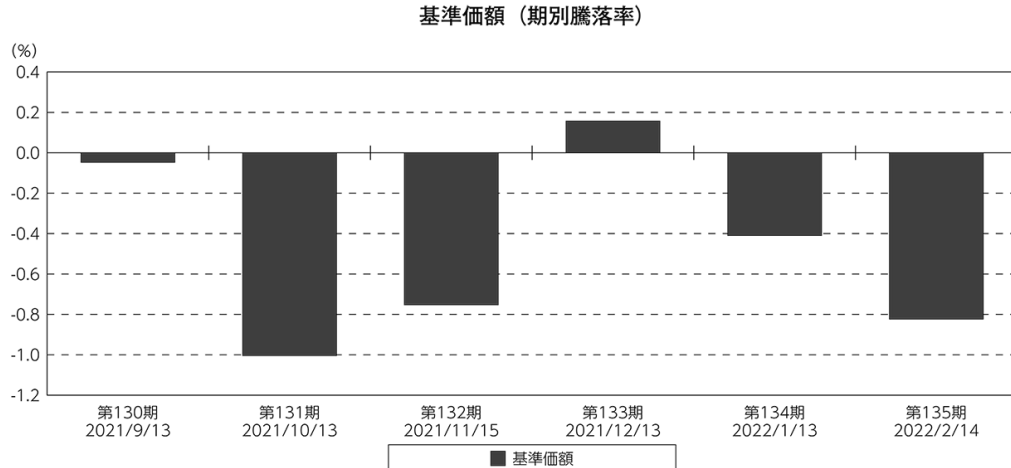
<為替>

当作成期を通じて、対円でほぼフルヘッジとしました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、原則として為替ヘッジ後の利回り水準等を勘案して1ヵ月毎に投資対象国を見直します。当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

当作成期の収益分配金は、基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から次の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
	2021年8月14日～ 2021年9月13日	2021年9月14日～ 2021年10月13日	2021年10月14日～ 2021年11月15日	2021年11月16日～ 2021年12月13日	2021年12月14日～ 2022年1月13日	2022年1月14日～ 2022年2月14日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	0.118%	0.119%	0.120%	0.120%	0.121%	0.122%
当期の収益	10	10	10	9	10	10
当期の収益以外	—	—	—	0	—	—
翌期繰越分配対象額	956	957	958	958	958	958

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

今後の運用につきましては、引き続き信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性等も加味して、投資対象国を原則として3カ国選定した上で、国別の投資比率が概ね均等となるように投資を行ないます。投資する債券は、主として、世界主要国[※]のうち信用力が高い国の国債、およびわが国の国債とします。また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として、5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。

※世界主要国とは、当面、FTSE世界国債インデックスに採用されている国とします。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年8月14日～2022年2月14日)

項 目	第130期～第135期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 30	% 0.362	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(14)	(0.167)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(14)	(0.167)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(2)	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.014	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	31	0.376	
作成期間の平均基準価額は、8,347円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

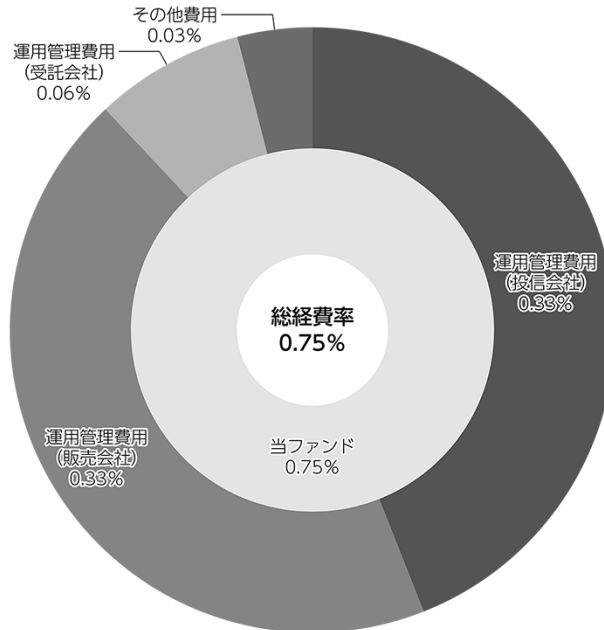
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.75%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年8月14日～2022年2月14日)

公社債

			第130期～第135期	
			買付額	売付額
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 37,229	千米ドル 14,257
	ノルウェー	国債証券	千ノルウェークローネ -	千ノルウェークローネ 238,801
国	シンガポール	国債証券	千シンガポールドル 22,401	千シンガポールドル 25,967
	オーストラリア	国債証券	千豪ドル 20,666	千豪ドル 23,210

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年8月14日～2022年2月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年2月14日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	第135期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 22,960	千米ドル 22,574	千円 2,605,761	% 32.6	% -	% 9.1	% -	% 23.5
シンガポール	千シンガポールドル 30,100	千シンガポールドル 30,797	2,640,548	33.0	-	2.0	11.4	19.6
オーストラリア	千豪ドル 31,200	千豪ドル 32,699	2,693,786	33.7	-	4.3	21.0	8.4
合計	-	-	7,940,096	99.3	-	15.4	32.4	51.5

*邦貨換算金額は、第135期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	第135期末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	国債証券	US TREASURY N/B	0.125	9,360	9,342	1,078,399	2022/6/30
		US TREASURY N/B	1.625	6,900	6,934	800,449	2022/11/15
		US TREASURY N/B	1.25	5,900	5,638	650,815	2028/9/30
		US TREASURY N/B	1.125	800	659	76,097	2040/5/15
小	計					2,605,761	
シンガポール				千シンガポールドル	千シンガポールドル		
	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT	3.125	12,800	12,962	1,111,374	2022/9/1
		SINGAPORE GOVERNMENT	1.75	4,000	4,031	345,668	2023/2/1
		SINGAPORE GOVERNMENT	2.0	1,300	1,320	113,214	2024/2/1
		SINGAPORE GOVERNMENT	3.0	3,600	3,745	321,164	2024/9/1
		SINGAPORE GOVERNMENT	2.375	3,700	3,807	326,469	2025/6/1
		SINGAPORE GOVERNMENT	2.125	3,000	3,057	262,107	2026/6/1
		SINGAPORE GOVERNMENT	2.75	1,700	1,872	160,548	2042/4/1
小	計					2,640,548	
オーストラリア				千豪ドル	千豪ドル		
	国債証券	AUSTRALIAN GOVERNMENT	2.25	8,000	8,112	668,299	2022/11/21
		AUSTRALIAN GOVERNMENT	0.25	5,000	4,830	397,922	2024/11/21
		AUSTRALIAN GOVERNMENT	3.25	7,500	7,867	648,085	2025/4/21
		AUSTRALIAN GOVERNMENT	4.25	7,000	7,677	632,435	2026/4/21
		AUSTRALIAN GOVERNMENT	4.75	3,700	4,212	347,044	2027/4/21
小	計					2,693,786	
合	計					7,940,096	

* 邦貨換算金額は、第135期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年2月14日現在)

項 目	第135期末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 7,940,096	% 98.1
コール・ローン等、その他	152,037	1.9
投資信託財産総額	8,092,133	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 第135期末における外貨建純資産(8,029,548千円)の投資信託財産総額(8,092,133千円)に対する比率は99.2%です。

* 外貨建資産は、第135期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=115.43円、1シンガポールドル=85.74円、1豪ドル=82.38円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第130期末	第131期末	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末
	2021年9月13日現在	2021年10月13日現在	2021年11月15日現在	2021年12月13日現在	2022年1月13日現在	2022年2月14日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	17,764,596,773	17,744,928,503	16,345,370,416	17,408,557,584	16,168,890,728	16,035,424,213
コール・ローン等	68,124,036	59,429,778	62,695,142	113,501,769	90,207,381	93,630,181
公社債(評価額)	8,834,278,536	8,917,344,055	8,028,956,236	8,212,642,838	7,975,235,901	7,940,096,704
未収入金	8,800,487,248	8,683,242,690	8,183,022,350	9,047,300,788	8,055,698,066	7,943,291,033
未収利息	48,557,271	62,181,146	54,554,737	16,912,024	28,708,541	37,206,533
前払費用	10,725,361	19,816,575	12,755,298	14,330,627	14,761,237	16,476,582
その他未収収益	2,424,321	2,914,259	3,386,653	3,869,538	4,279,602	4,723,180
(B) 負債	8,855,828,058	8,965,760,806	8,033,596,480	9,123,560,999	8,015,159,956	8,035,758,006
未払金	8,828,456,000	8,939,720,136	8,006,381,960	9,105,053,081	8,000,285,060	7,998,564,500
未払収益分配金	10,519,378	10,483,988	10,013,325	9,977,176	9,870,914	9,777,028
未払解約金	11,400,956	10,344,300	11,684,961	3,965,957	-	22,324,854
未払信託報酬	5,434,999	5,196,359	5,499,291	4,550,767	4,988,625	5,075,993
未払利息	14	43	34	24	18	23
その他未払費用	16,711	15,980	16,909	13,994	15,339	15,608
(C) 純資産総額(A-B)	8,908,768,715	8,779,167,697	8,311,773,936	8,284,996,585	8,153,730,772	7,999,666,207
元本	10,519,378,154	10,483,988,885	10,013,325,786	9,977,176,044	9,870,914,117	9,777,028,821
次期繰越損益金	△ 1,610,609,439	△ 1,704,821,188	△ 1,701,551,850	△ 1,692,179,459	△ 1,717,183,345	△ 1,777,362,614
(D) 受益権総口数	10,519,378,154口	10,483,988,885口	10,013,325,786口	9,977,176,044口	9,870,914,117口	9,777,028,821口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,469円	8,374円	8,301円	8,304円	8,260円	8,182円

(注) 第130期首元本額は10,581,102,966円、第130～135期中追加設定元本額は185,573,932円、第130～135期中一部解約元本額は989,648,077円、1口当たり純資産額は、第130期0.8469円、第131期0.8374円、第132期0.8301円、第133期0.8304円、第134期0.8260円、第135期0.8182円です。

○損益の状況

項 目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
	2021年8月14日～ 2021年9月13日	2021年9月14日～ 2021年10月13日	2021年10月14日～ 2021年11月15日	2021年11月16日～ 2021年12月13日	2021年12月14日～ 2022年1月13日	2022年1月14日～ 2022年2月14日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	16,570,917	16,347,134	16,688,386	13,302,316	15,420,437	15,232,557
受取利息	16,109,017	15,909,721	16,397,887	12,834,805	15,042,699	14,865,733
その他収益金	463,383	438,193	293,931	468,200	378,423	367,600
支払利息	△ 1,483	△ 780	△ 3,432	△ 689	△ 685	△ 776
(B) 有価証券売買損益	△ 14,821,193	△ 99,606,143	△ 74,250,851	△ 4,614,338	△ 43,381,031	△ 76,613,673
売買益	141,091,930	319,987,540	480,319,343	496,248,171	273,183,602	146,404,934
売買損	△ 155,913,123	△ 419,593,683	△ 554,570,194	△ 491,633,833	△ 316,564,633	△ 223,018,607
(C) 信託報酬等	△ 5,645,270	△ 5,400,814	△ 5,686,444	△ 4,734,706	△ 5,185,570	△ 5,263,477
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	△ 3,895,546	△ 88,659,823	△ 63,248,909	△ 13,181,948	△ 33,146,164	△ 66,644,593
(E) 前期繰越損益金	△ 1,120,626,214	△ 1,121,910,946	△ 1,165,553,871	△ 1,231,211,595	△ 1,213,402,271	△ 1,238,078,839
(F) 追加信託差損益金	△ 475,568,301	△ 483,766,431	△ 462,735,745	△ 464,172,636	△ 460,763,996	△ 462,862,154
(配当等相当額)	(936,939,923)	(934,426,844)	(892,515,861)	(889,481,848)	(880,096,295)	(872,079,942)
(売買損益相当額)	(△ 1,412,508,224)	(△ 1,418,193,275)	(△ 1,355,251,606)	(△ 1,353,654,484)	(△ 1,340,860,291)	(△ 1,334,942,096)
(G) 計 (D+E+F)	△ 1,600,090,061	△ 1,694,337,200	△ 1,691,538,525	△ 1,682,202,283	△ 1,707,312,431	△ 1,767,585,586
(H) 収益分配金	△ 10,519,378	△ 10,483,988	△ 10,013,325	△ 9,977,176	△ 9,870,914	△ 9,777,028
次期繰越損益金 (G+H)	△ 1,610,609,439	△ 1,704,821,188	△ 1,701,551,850	△ 1,692,179,459	△ 1,717,183,345	△ 1,777,362,614
追加信託差損益金	△ 475,568,301	△ 483,766,431	△ 462,735,745	△ 464,172,636	△ 460,763,996	△ 462,862,154
(配当等相当額)	(936,939,923)	(934,426,844)	(892,515,861)	(889,481,848)	(880,096,295)	(872,079,942)
(売買損益相当額)	(△ 1,412,508,224)	(△ 1,418,193,275)	(△ 1,355,251,606)	(△ 1,353,654,484)	(△ 1,340,860,291)	(△ 1,334,942,096)
分配準備積立金	69,638,430	69,295,185	67,134,111	66,531,624	66,104,322	65,331,421
繰越損益金	△ 1,204,679,568	△ 1,290,349,942	△ 1,305,950,216	△ 1,294,538,447	△ 1,322,523,671	△ 1,379,831,881

* 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2021年8月14日～2022年2月14日) は以下の通りです。

項 目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
	2021年8月14日～ 2021年9月13日	2021年9月14日～ 2021年10月13日	2021年10月14日～ 2021年11月15日	2021年11月16日～ 2021年12月13日	2021年12月14日～ 2022年1月13日	2022年1月14日～ 2022年2月14日
a. 配当等収益 (経費控除後)	10,925,647円	10,946,320円	11,001,942円	9,786,797円	10,234,867円	9,969,080円
b. 有価証券売買等損益 (経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	936,939,923円	934,426,844円	892,515,861円	889,481,848円	880,096,295円	872,079,942円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	69,232,161円	68,832,853円	66,145,494円	66,722,003円	65,740,369円	65,139,369円
e. 分配対象収益 (a+b+c+d)	1,017,097,731円	1,014,206,017円	969,663,297円	965,990,648円	956,071,531円	947,188,391円
f. 分配対象収益 (1万円当たり)	966円	967円	968円	968円	968円	968円
g. 分配金	10,519,378円	10,483,988円	10,013,325円	9,977,176円	9,870,914円	9,777,028円
h. 分配金 (1万円当たり)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

○分配金のお知らせ

	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
1万口当たり分配金(税込み)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

該当事項はございません。